

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 内外テック株式会社  
 コード番号 3374 URL <http://www.naigaitec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

(氏名) 権田浩一  
 (氏名) 中田 治

TEL 03-5433-1123

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,064	—	△125	—	△136	—	△109	—
20年3月期第1四半期	5,655	11.7	125	△11.3	123	△6.3	53	△23.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△21.57	—
20年3月期第1四半期	10.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	11,143	2,284	20.5	450.62
20年3月期	11,207	2,433	21.7	480.03

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,284百万円 20年3月期 2,433百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	8,800	—	90	—	75	—	45	—	8.88
通期	19,300	△2.9	275	△10.1	250	△19.6	140	13.1	27.61

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	5,072,000株	20年3月期	5,072,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	1,736株	20年3月期	1,736株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	5,070,264株	20年3月期第1四半期	5,071,200株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想(平成20年5月16日発表)の見直しは行っておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提のもとで、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰や米国のサブプライム問題の拡大により、設備投資や個人消費の伸びが鈍化するなど、減速の度合いがさらに深まりました。

当社グループの主な取引先である半導体業界や半導体製造装置業界におきましても、市況停滞と需給バランスの悪化等の影響により、半導体メーカーの設備投資ペースが一段と減速するなど、受注の底割れ感が見られるようになりました。

こうした経営環境のもと、当社グループでは、引き続き装置メーカーの設計から製作・設置までの一貫した機能を受託することや太陽電池市場での受注獲得の取り組みを行ってまいりましたが、昨年後半から続く市況悪化が回復しなかったため、業績は大変厳しいものとなりました。

この結果、当第1四半期の連結売上高は40億64百万円（前年同期比28.1%減）となりました。損益面では、売上高の不振により営業損失1億25百万円（前年同期は営業利益1億25百万円）、経常損失1億36百万円（前年同期は経常利益1億23百万円）、四半期純損失1億9百万円（前年同期は四半期純利益53百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①販売事業

電子機器・機械装置の販売事業におきましては、半導体メーカーの投資先送りや取り止め、また取引先からのコストダウン要請もあり、売上高34億77百万円（前年同期比32.2%減）、営業損失40百万円（前年同期は営業利益1億29百万円）となりました。

#### ②受託製造事業

電子機器・機械装置の組立等の受託製造事業におきましては、太陽電池関連での受注増加がありましたが、既存取引先からの受注の先送りやキャンセルが発生したこと、また先行投資や新設子会社の業務立ち上げの大幅な遅れに伴うコスト増により、売上高8億5百万円（前年同期比5.9%増）、営業損失95百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、111億43百万円となりました。この主な要因は、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、88億59百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の増加等により固定負債が2億37百万円増加したのに対し、仕入高減少に伴う支払手形及び買掛金の減少等により流動負債が1億52百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、22億84百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が当四半期純損失及び配当金支払により1億60百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ21.7%から20.5%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、27億41百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億38百万円となりました。この主な減少要因は、仕入債務の減少額2億36百万円、税金等調整前四半期純損失1億36百万円及び法人税等の支払額1億5百万円等であり、主な増加要因は売上債権の減少額2億78百万円等であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億78百万円となりました。これは主として定期預金の現金同等物からの預入期間変更による増加額1億51百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2億51百万円となりました。これは主として長期借入金の純増額3億22百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の連結業績予想につきましては、国内景気は次第に穏やかな成長経路に回復していくとの見方もありますが、景気の下振れリスクの拡大により、半導体メーカーの投資がさらに低下する傾向にあることに加え、設備投資により拡大をめざしていた受託製造事業の立ち上がりが大幅に遅れていること、さらに取引先からのコストダウン要請が厳しくなっていることや原価コストが増加していることなどから、大変厳しい状況が予想されます。なお、平成20年5月16日の決算短信発表時に公表いたしました平成21年3月期（連結・個別）業績予想の修正が必要と考えておりますが、現状では不確定要素が多いことから、現時点では変更を行わず、業績予想の修正の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

##### ②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

##### ③税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### (追加情報)

##### ①有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、平成20年度の法人税法の改正に伴い、資産の利用状況等を勘案した結果、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

この変更に伴う、損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

##### ②役員退職慰労引当金

役員等の報酬制度見直しの一環として、平成20年6月25日の定時株主総会の日をもって役員退職慰労金制度を廃止いたしました。一部の連結子会社についても、役員退職慰労金制度を廃止しております。

なお、当該総会までの期間に対応する役員退職慰労金相当額179,484千円は、長期未払金に振り替えております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,037,884	2,951,540
受取手形及び売掛金	4,376,271	4,654,220
商品	592,099	506,125
原材料	106,324	70,683
仕掛品	52,469	36,411
貯蔵品	45,189	46,725
その他	167,206	192,076
貸倒引当金	△4,342	△3,986
流動資産合計	8,373,103	8,453,797
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,130,416	1,130,416
その他(純額)	692,492	702,476
有形固定資産合計	1,822,908	1,832,893
無形固定資産	18,485	19,396
投資その他の資産		
その他	930,577	903,182
貸倒引当金	△1,136	△1,324
投資その他の資産合計	929,440	901,858
固定資産合計	2,770,834	2,754,147
資産合計	11,143,938	11,207,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,944,344	5,180,815
短期借入金	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	758,428	655,219
未払法人税等	3,701	106,122
賞与引当金	182,333	121,388
その他	316,392	273,675
流動負債合計	6,205,200	6,357,220
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	1,803,435	1,584,302
退職給付引当金	551,066	534,785
役員退職慰労引当金	—	177,754
長期未払金	179,484	—
固定負債合計	2,653,986	2,416,841
負債合計	8,859,187	8,774,062

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	389,928
資本剰余金	322,078	322,078
利益剰余金	1,538,685	1,698,765
自己株式	△643	△643
株主資本合計	2,250,048	2,410,127
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,702	23,755
評価・換算差額等合計	34,702	23,755
純資産合計	2,284,751	2,433,882
負債純資産合計	11,143,938	11,207,944

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	4,064,933
売上原価	3,746,164
売上総利益	318,769
販売費及び一般管理費	443,933
営業損失(△)	△125,164
営業外収益	
受取利息	792
受取配当金	2,051
仕入割引	1,649
その他	1,970
営業外収益合計	6,463
営業外費用	
支払利息	15,257
その他	2,987
営業外費用合計	18,244
経常損失(△)	△136,945
特別利益	—
特別損失	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△136,945
法人税等	△27,569
四半期純損失(△)	△109,376

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△136,945
減価償却費	20,723
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	168
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,945
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,281
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△177,754
長期未払金の増減額 (△は減少)	179,484
受取利息及び受取配当金	△2,843
支払利息	15,257
売上債権の増減額 (△は増加)	278,136
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△136,137
仕入債務の増減額 (△は減少)	△236,470
その他	96,327
小計	△22,827
利息及び配当金の受取額	3,067
利息の支払額	△13,556
法人税等の支払額	△105,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	△138,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△190,140
定期預金の払戻による収入	38,669
有形及び無形固定資産の取得による支出	△11,820
有形固定資産の売却による収入	1,529
投資有価証券の取得による支出	△897
その他	△15,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	165,000
短期借入金の返済による支出	△185,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△177,657
配当金の支払額	△50,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	251,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△65,127
現金及び現金同等物の期首残高	2,806,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,741,249

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,438,839	626,094	4,064,933	—	4,064,933
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,524	179,431	217,956	(217,956)	—
計	3,477,364	805,525	4,282,890	(217,956)	4,064,933
営業利益又は営業損失(△)	△40,225	△95,152	△135,378	10,213	△125,164

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している事業の性質を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する事業の内容

事業区分	事業の内容
販売事業	電子機器・機械装置の販売
受託製造事業	電子機器・機械装置の組立等の受託製造

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	5,655,997
II 売上原価	5,090,366
売上総利益	565,630
III 販売費及び一般管理費	439,848
営業利益	125,782
IV 営業外収益	
1. 受取利息及び配当金	3,551
2. 賃貸収入	1,378
3. その他	4,801
営業外収益合計	9,730
V 営業外費用	
1. 支払利息	10,810
2. 賃貸原価	58
3. その他	1,091
営業外費用合計	11,961
経常利益	123,552
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	123,552
税金費用	70,536
四半期純利益	53,015

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	123,552
売上債権の増減額(増加:△)	△209,641
たな卸資産の増減額(増加:△)	△146,452
仕入債務の増減額(減少:△)	580,562
その他	170,841
小計	518,861
法人税等の支払額	△288,605
その他	△6,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,044
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形・無形固定資産の取得による支出	△10,515
投資有価証券の取得による支出	△1,055
その他	△36,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,250
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	10,000
長期借入金の返済による支出	△130,554
社債の償還による支出	△40,000
配当金支払額	△50,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,266
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	4
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△35,467
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,570,309
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,534,841

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	販売事業 (千円)	受託製造事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	5,129,819	760,289	5,890,108	(234,110)	5,655,997
営業費用	5,000,665	776,501	5,777,167	(246,951)	5,530,215
営業利益又は営業損失 (△)	129,153	△16,212	112,941	12,841	125,782

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。